



寄未知タイムス

理念・校訓 「学・思・貫」

発行 令和6年1月29日
那覇市立寄宮中学校
生徒数 527名
学校だより 8号

「辰年とは？」

校長 望月雄紀

2024年「辰」年が始まりました。新年早々に災害等がありましたが、今後は平穏で幸せな時間が流れる年になってほしいと願っています。

2学期後半開始日に、以下のことを生徒に伝えました。

2024年、令和6年がスタートしました。みなさん、新年明けましておめでとうございます。今年も、新年早々、北陸の石川県を中心に大きな地震がありました。また、東京の羽田空港でも、大きな航空機事故がありました。犠牲者も出ています。ご冥福を祈りましょう。

ところで、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。スタートが肝心だということです。皆さんの初夢はどうしたか？初詣では何をお願いしましたか？令和6年の目標を立てたでしょうか。

今年“辰”年で、その中でも甲辰（きのえたつ）といって、新しいことに挑戦すると成功し、いままで準備してきたことが形になるといった、これからの成長をさらに形作っていく、縁起のよい年のようなようです。ぜひ、何事にも挑戦してみてください。

3年生は、あとわずかで卒業です。最後の中学生生活をどのように過ごすか。新年度に向けてどういう進路にすすむのか、いよいよ決断する時期になりました。冬休みは、受験勉強にしっかり取り組んできたと思います。来週の1月9日、火曜日からの総合テストで、冬休みの頑張り・成果をしっかりと発揮してください。

2年生は、4月には義務教育の最終学年となり、進路を決める大切な年になります。生徒会では新生徒会長・副会長が選出されました。ぜひ、学校のリーダーとして積極的に取り組む2年生であってほしいと思います。

1年生は、中学校生活にもすっかり慣れて、落ち着いて学習や部活動等に取り組んでいると思います。2月7日には新1年生の入学説明会があり、4月には後輩も入学してきます。2年生へ向けて学習習慣や生活習慣をさらにしっかりと身に付けましょう。

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」という言葉があり、あっという間に、卒業・新学年を迎えます。この3カ月の一日一日を大切に過ごしていきましょう。

最後に、寄宮中学校の生徒一人一人が、「自ら学ぶ力」「思いやりの心」「ねばりぬく力」を兼ね備えた、自ら気づき、考え行動する生徒になるために、校長をはじめ、全先生方が最後まで応援しています。

新しい年を、幸せいっぱい年にしていきましょう。

3年生模擬面接開催

1月12日（金）に3年生が「地域社会人による模擬面接」を実施しました。これは、「模擬面接を通して、自分の将来の目標や希望を多くの社会人に話し、面接官（地域社会人）に助言をもらうことによって、自分の考えをより明確にして自信を持ち、高校入試や就職における面接試験への励みにする。」をねらいとしています。



当日は、保護者、PTA役員、民生員、卒業生、まちづくり協議会、青少協等の方々、約20名に集まっていただきました。子どもたちからは、「とても緊張した。自分の考えていることがなかなか言えなかった。」などの感想がありました。面接官からは、「とてもしっかりと受け答えができる生徒がいて、感心しました。」等の話がありました。今回面接官を引き受けていただいた方々に、改めて感謝申し上げます。



2年生寄未知タイム発表会

年末の12月22日(金)「沖縄の観光を世界一にするための秘策を考えよ!」をテーマに、2学年が寄未知博(総合的な学習の時間発表会)を開催しました。今年度5月には沖縄コンベンションビューローの担当者を招き沖縄観光の現状を学習しました。そして、「沖縄探究プロジェクト」と題して「観光」に焦点を絞った探究活動を始めました。夏休みにはお土産屋さん、ホテル、酒造所などでインタビューするなどフィールドワークを実施し、9月には中間発表会を開催しました。

その後、「修学旅行探究プロジェクト」と題して、修学旅行先である日本を代表する観光地の京都の探究活動にシフトしました。京都での探究活動で得た情報と沖縄との相違点や課題をまとめ、今回の発表に至りました。観光関係のエキスパート(専門家)の方々8名を招き、「おもてなし」「自然環境」「文化・芸術」「建物」「観光地」「食文化・お土産」の6分野に分けて34グループが発表しました。生徒からは「京都は観光業の人だけでなく、そこに暮らしている人からおもてなしの心を感じた。沖縄も住民がもっとおもてなしの心を持つことが大切だと思う。」や「京都は観光場所が多い。沖縄も観光施設を増やした方がいい。」など提案をしました。エキスパートからそれぞれ質問やアドバイスをいただき、とても充実した発表会となりました。



生徒会発表会

12月26日(火)に石嶺中学校にて、令和5年度第5回生徒会活動実践報告会が開催されました。これは、「生徒主体の特色ある取組を紹介するとともに、6校の生徒会による交流を通して、異学年集団の絆づくりと、生徒主体の学校行事や生徒会活動を創造する大切さを学び深め、今年度の生徒会活動の総括と次年度における活動の推進及び、新生徒会役員の意欲の向上を目指す」とのねらいで開催されています。石嶺中学校体育館には、石嶺中、寄宮中、小祿中、首里中、仲西中、浦西中の生徒会が一堂に会しました。また、オンラインで石垣中学校も参観しました。この会の司会進行はもちろん、お互いの緊張をほぐすためのアイスブレイク(出会いのゲーム)の司会進行も全て生徒が行いました。大人顔負けの進行に、とても頼もしさを感じました。各校特色ある発表をしていましたが、本校生徒会の発表が一番のインパクトを残したのではないかと思います。(ˆ▽ˆ)



音楽鑑賞会(リコーダー演奏)

12月22日(金)に図書館でリコーダー5重奏によるクリスマスミニコンサートが開かれました。クリスマスソングやオトナブルーなど、6種類のリコーダー(クラリネット・ソプラノ・ソプラノ・アルト・テナー・バス)の奏でる美しい音色に、とても癒やされました。企画は、本校図書館司書の大城由子先生で、5名全員がなんと名前が大城さん。チーム名は「大城クインティッド」! 来年も是非、演奏をお願いします。



なはの日の表彰

1月13日(土)に「なは教育の日」の式典がパレット市民劇場で開催されました。本校から、7名の生徒が表彰されました。善行青少年表彰の個人の部で5名、村田聖来さん(3年)、屋比久帆乃夏さん(3年)、當山花音さん(3年)、石原由唯さん(3年)、山里友莉亜さん(3年)。「いきもの係」として1年生の頃から意欲的にウサギとカメの世話をするボランティア活動に対する表彰でした。また、標語の部で最優秀賞久保田莉子さん(3年)「学ぶとは になりたい自分になる一歩」、佳作に喜納ひなたさん(3年)「学び舎で 育んでいく 夢の種」で表彰を受けました。久保田莉子さんの標語はポスターにも掲載されています。改めて、おめでとうございます。



保護者の皆様へ

先日の本校への不審者侵入の件では、大変ご心配をおかけしました。事件翌日には朝会を開き、生徒へ事件の状況、注意喚起、心の相談について話をしました。学びポケットでもお伝えしたとおり、現在、生徒の心のケアに努めているところです。ご家庭でも不審者についてのご注意をお願いいたします。この件でご不明な点がありましたら、学校へお問い合わせください。